

# 図書館における 市民参画支援

山梨学院大学法学部政治行政学科

竹端寛(たけばた ひろし)

[h-takebata@ygu.ac.jp](mailto:h-takebata@ygu.ac.jp)

[http:// www.surume.org](http://www.surume.org)

Twitter @takebata

# 今日のタイムスケジュール

- 14時～14時30分 竹端の話＋α
- 14時30分～15時10分
  - グループワーク: 私たちの図書館で出来る「ともに」の支援とは？
  - 事前課題の「図書館実践事例集 ～人・まち・社会を育む情報拠点を目指して～」も参考に
- 15時10分～15時半
  - グループワークの発表とフロア全体でのやりとり
- 15時半～16時
  - 事業化に向けたスモールステップの企画案作り

# ドラッカーの5つの質問

1. 我々の使命(仕事)は何か？
2. 我々の顧客は誰か？
  1. 第一の顧客は誰か？
  2. 支持してくれる顧客は誰か？
3. 顧客は何を価値あるものとするか？
4. 我々の成果は何か？
5. 我々の計画は何か？

☆我々＝市民参画支援を行う図書館職員、とすると？

出典：P・F・ドラッカー「非営利組織の成果重視マネジメント」ダイヤモンド社

# 人間が輝き続ける3要素

- **役割**・・・「私はこれをしなければならない」「あなたが必要なんです」というのが、人が生きていく上での重要な**「存在根拠」**
- **責任**・・・役割を果たす事で、「任されている」という責任感が生まれる。責任感がないと、**やりがいや充実感**までなくなる。
- **誇り**・・・役割や責任があるからこそ、**自信**を持って生き続ける。孤独ではなくなる。

# “ための”と“ともに”の違い

- “ための” (for)
  - AがBの「ために」何かを「してあげる」関係
  - Aが上で、Bが下、という上下関係、一方的な関係に陥りやすい
  - 「やってあげているのだから、我慢しなさい」「・・・」
- “ともに” (with)
  - AとBが「ともに」何かを「一緒にする」関係
  - AとBは対等なパートナーの関係
  - 「これで良い？」「私は違うやり方にしてほしい」「なぜそう思うの？」「だって〇〇だから」「じゃあ・・・」

# 地域の中での「あるもの探し」

- 地域の中で、眠っている・活かせる・まだ使える・未開発の「ひと・もの・場所」を探す
- ご近所や地域の人々と「ともに探す」なかで、どんなことが出来そうか、をおしゃべり
- その中で、「この地域で豊かに暮らしていくためのあるもの探し」の物語を紡ぎ出す。
- 自分自身の「できること・したいこと・求められていること」と、地域のそれが重なると、夢が始まる。

# あるもの探しの3つのステップ

1. 自分や身の回りに「あるもの」を探し、それにまつわる「夢」や「目標」を考える・妄想する  
(begin your dream)
2. その「夢」を実現するために、自分や仲間になにができるか、を井戸端会議で話し合い、ちょっとやってみる (pursue your dream)
3. 「小さな成功」を積み重ねる中で、自信と次の成果に向けた意欲を持ち、楽しみながら「夢を生きる」 (live your dream)

# 市民参加の梯子

8段目	Civil Control	市民による コントロール	住民の 権利としての 参加 (with) 協働の目標
7段目	Delegate Power	市民への 一部権限委譲	
6段目	Partnership	官民 パートナーシップ	
5段目	Placation	代表の参加・譲歩	形式的 参加 (for)
4段目	Consultation	意見聴取・協議	
3段目	Information	情報提供	
2段目	Therapy	セラピーや治療	不参加(to)
1段目	Manipulation	世論操作や説得	



# 図書館における「利用者参画」支援

- 図書館で市民に参画してもらう支援
- 図書館が市民の参画を後押しする支援
- 関わる・・・本を求めてくる人々と、より一歩踏み込んで関わる。その人のニーズや背景を学ぶ。
- つなげる・・・情報提供と相談支援
  - 就労・教育・福祉等の相談支援に
  - セルフヘルプグループやボランティア団体に
- 引き出す・・・役割や誇り・責任
  - コミュニティビジネスや市民活動の立ち上げ支援を社協や商工会議所と連携して行えないか？

# 社会起業家(Social Entrepreneur)

- 生産様式を革新ないし革命化すること  
(Schumpeter)
- 社会問題を先駆的に解決する制度を作ったり作り替えたりするプロセス
- 社会セクターにおける**チェンジ・エージェント**の役割 (Dees, J Gregory. 2001. *The Meaning of Social Entrepreneurship.*)
  - **社会的な価値**を創造し維持する使命を採用
  - ミッションに貢献するチャンスを認識、執拗に追求
  - **継続的な創造、適応、学習のプロセス**に従事
  - 現在手に入る資源に限定されることなく、大胆に行動
  - 高い説明責任

# 図書館に求めるパートナーシップ

- 市民が、自分や周囲、地域の課題を解決するための力をつける「エンパワメント」支援
- そのために、図書館という情報の集積地が、新しい物事を考え、議論する為のインキュベーション(孵卵器)になる場
- 新たな人と出会い、関わり合う中ではじめの一步を踏み出す出会いときっかけづくり
- 図書館自体に「新しい風を入れる」ことで、固定客以外の「新たな価値・新たな顧客」を生み出す可能性